

～アムニティタウン寺泊をめざして～

広報

アらどまり

1992
8月号
No.202



ちょっと

およげるようになったよ! (郷本保育所)

今月の主な記事

- 9月から学校5日制が始まります
- みんなの公民館ひろば

—人のうごき (7月1日現在)—

人	口13,054人 (-7)
男	6,253 (-4)
女	6,801 (-3)
世帯数	3,158世帯 (-2)
・出生	17人
・死亡	9人
・転入	15人
・転出	30人
	() 内は前月比

●平成4年8月1日 寺泊町役場発行 〒940-25 新潟県三島郡寺泊町大字寺泊字上田町8224の2
●総務課編集 TEL 0258-75-3111(代)



みなさんのおいでをおまちしています

水族博物館

だより

あいきょう者の毒魚 フグの仲間たち

先月号で毒のある魚ミノカサゴを紹介しましたが、海にはまだまだ毒のある魚が数多くいます。



毒のある魚といえば、まずフグを思い出されるのではないでしょう。フグは世界の熱帯から温帯にかけて分布し、日本の近海には約四十種類が生息しています。フグの名前の由来は、怒ると腹がふくれるところから来ています。つまり、「ふくれる」が「フク」になり「フグ」になったようです。フグの毒はテトロドトキシンと呼ばれ、煮ても焼いてもかわれず、○・五〜一・〇mgで人間が死ぬほどの強さだといわれています。フグの毒の強さは種類によって違いますが、特に卵巣と肝臓に多く、産卵期に最高になります。中でも水族館のまわりに泳いでいるクサフグは毒の強さでは横綱級です。しかし、体じゅう針だらけのハリ

センボンなど毒のないフグもいます。フグは魚の中でも形や動きがともユーモラスな魚で、中でも一番おもしろいのは体をふくらませることでしょう。外敵におそわれたりすると飲み込んだ水や空気を胃にある袋に送り込んで腹を大きくふくらませ、外敵をびっくりさせて身を守ります。またフグで、もう一つおもしろいことは目をつぶることです。ほとんどの魚は人間のようなまぶたがなく目をつぶることはできませんが、フグは目のまわりの皮膚を動かしてゆっくりと目をつぶることができます。毒のある魚の代表ともいえるフグですが、飼育していると、とてもユーモラスでかわいい魚です。

日本海夕日ライン サマーフェスティバル'92

- とき 8月23日(日) 午後5時より
 - ところ 野積海水浴場
 - 内容 ちびっこ広場、郷土芸能、ジャンケンランブリー、伊勢崎ママさんコーラス、分水太鼓等
- 友好姉妹都市、伊勢崎市民の友情出演!!
近所おさそいのうえ多数おいで下さい。

9月から 学校5日制が始まります

それは、「地域・家庭2日制」の始まりでもあります

学校は、9月12日から毎月第2土曜日が休みとなる「学校5日制」がスタートします。これは子供たちだけのお話ではありません。先生やお父さんお母さんはもちろんのこと、隣のお兄さん、近所のおばさん、そして地域みんなにかかわるお話です。子供がのびのびと育つのはみんなの願いなのです。

月にたった1日のことですが、とても大事な1日なのです。子どもはたくさんの可能性を秘めています。今までの学校依存型の生活実態を見直し、家庭や地域での子どもの生活時間をもっと増やそうと言う「地域・家庭2日制」のスタートでもあります。

最近の子供たちは

とても忙しそうです。学校が終われば、クラブ活動、塾や稽古事。昔のように、夕方まで公園や小路で走り回っている子供の姿はあまり見かけなくなりました。それに「遊びかたを知らない」子供も増えてきていると言われています。

親も、学校へ行っていれば安心と、ともすると本来家庭で行うしついでまで学校に依存する姿勢も見受けられるようになりました。一方、社会では、週休二日制が定着しつつあり、ゆとりのある生活が求められています。

わが家の休業日

(実験校のある家庭)

我が家の休業日の対応は、「花金計画」から始まります。第二金曜日がいままでと違って大変楽しい金曜日になりました。翌日が休みということ、子供たちは浮き浮きして計画を立案しています。

- ・中学生の女の子
- ・友達と一緒に老人ホームを慰問に行く計画、午後には家族と合流
- ・小学校五年生の男の子
- ・父と一緒に自転車で行く
- ・小学校三年生の女の子
- ・父達と一緒に河原で石集め
- ・母は勤務が終わってから
- ・中学生の姉とおにぎりを作り車に積んでみんなと合流



学校5日制とは

今日指摘されている、学歴偏重・知識偏重等の流れを変えて、豊かな生活体験や活動体験を通して養われる自発性・創造性・企画性などを身につけ、全人的な力を養う教育を推進しようというものです。

このことは、生涯学習の理念に立つた、家庭・地域・学校などの教育の各分野の役割や責任を明確にすると共に、相互の連携をはかり、二十一世紀を担う子供たちを育てようとする教育改革として捉えられる事ができます。

知識の詰め込みだけが学力ではない

文部省は新しい学力観を提唱しています。それによると、今までの受験勉強のような知識だけを授ければよいという考え方や学校で習う知識や技能が単なる「物知り」として終わるのではなく、その後の勉強に役立つものであり、生活そのものにその知識が生きて動くのが「学力」であるとしています。従って、家庭の生活体験や自然体験・社会体験が重要になります。これらの体験学習は、もちろん学校でも展開されますが、地域や家庭での対応が重要視されます。



教育委員会では町内の小・中学校の保護者を対象に学校5日制に対するアンケート調査を実施しました

(下記の調査結果を参照)

アンケート調査に基づき社会教育委員会から提言をいただきました。家庭・地域社会に関する主な内容は

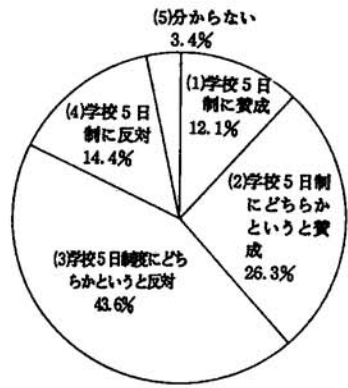
社会教育委員会の提言

家庭・地域社会では学校5日制の趣旨をよく理解し、週休日には子供たちを家庭や地域で面倒を見ようという基本的な考え方を踏まえ、学校教育の発展の場として、遊び・自然体験・社会体験等を増やす必要がある。

教育委員会の基本方針

- 一、金曜日に休業日の過ごし方について家族で話し合う。
- 二、休業日の過ごし方の計画は、保護者が助言して子どもに立てさせる。
- 三、一回の休業日なので、できるだけ子供と過ごすよう工夫する。
- 四、地域の子供は地域で育てるという意識で、積極的に地域の子供同士で遊ぶよう指導する。
- 五、地域行事を休業日に当てて地域みんなに参加する。
- 六、地域において、異年齢の仲間と自発的に活動したり、多様な直接体験をおさたりする子供会を充実し、その行事はできるだけ休業日にあてる。

学校5日制についてどう思いますか (%)



〔図1〕

学校5日制に対するアンケート調査結果

休業日の計画は親子で話し合っている

調査の概要

対象者 町内小・中学校の保護者
回答数 1,037人 (回収率96.1%)
調査日 平成4年5月11日~15日
調査項目 (1) 父母の勤務形態
(2) 土曜週休の在宅状況
(3) 学校5日制の賛否
(4) 土曜週休の親の対応
(5) 土曜週休の受け皿
(6) 土曜週休への要望

調査結果の概要

●父母の勤務形態

週休2日制については、「完全週休」「月2回」「月1回」を合すると父母の3分の2に当たる67%が週休制をとっています。土曜日以外の日に休んでいる姿も伺えます。

●第2土曜日の在宅状況

学校が休みとなる第2土曜日に誰がいるかについては、両親のどちらかがいる家庭は27.3%。祖父母のいる家庭は43.2%であり、全体として、誰かが家にいる家庭は、97.3%です。「一人で留守番をしている」家庭は、2.7%と少ない数値がでていますが、この子供達に対する対応が必要と思われます。

●学校5日制の賛否 (図1)
賛成・反対の比率は4:6で、国や、県の調査でも同様な結果があらわれています。(施行後には比率が逆転しているそうです)
賛成の理由は、「子供が自由に過ごす時間が増える」「親子で一緒に過ごす時間

が増える」等が多く、反対理由は、「学習負担が増える」「週休2日が完全に実施されていない」等の意見が多かったです。

●休業日の親の対応 (図2)

第2土曜日の休みの日にどう過ごさせるかについては、「子供と話し合うが休みでないのでも子どもにまかせる」が38.2%、「子供と話し合っ一緒に行動する」が32.3%で、子どもと話し合う親が70%にのびります。

●休みの日の受け皿

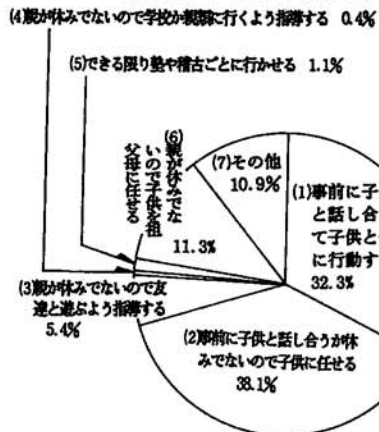
第2土曜日の休みの日に子供を受入れるところはどこが適切か、については、「家庭」とするのが52.6%、「地域」が19.3%「社会教育施設」が18.8%「学校」が6.3%となっています。

家庭・地域で対応するが70%を超える結果となりました。

●土曜週休への要望

学校5日制の実施にあたって保護者が何を要望しているかの調査ですが、「家庭や地域で対応したい」「図書館・公民館等の社会教育施設の充実」が共に19.4%と多く、続いて「児童文化施設の充実」「スポーツ少年団などの社会教育団体の充実」が要望として多くありました。

休業日の親の対応 (%)



〔図2〕



寺泊を会場に 友好親善を深め合う

—— 第43回両泊親善体育大会 ——



昭和十一年に始まり今年で四三回目を迎えた両泊親善体育大会が当町を会場に七月二十八日・二十九日の両日、赤泊選手団一五〇余名を迎えて盛大に行われました。

十八日午後零時四〇分カーフェリーが接岸し、赤泊選手団と一年振りの再会を喜び合い、又、夜の「友好の夕べ」では両泊選手とも和やかな雰囲気の中でエールの交歓、カラオケ大会、郷土芸能等が催され、大盛況会でありました。

競技の方は、赤泊選手団が長旅の疲れのせいか、寺泊が陸上総合、球技総合にそれぞれ優勝し、二日間にわたった熱戦に幕を閉じ、来年の再会を誓い合っていました。



新島崎川改修促進 期成同盟会設立

安全で豊かな活力ある地域づくりに資するため、新島崎川の抜本的な改修の促進を図ることを目的として、七月二三日新島崎川改修促進期成同盟会発足総会が開催されました。寺泊町長を会長として分水町長、町内農業団体長、沿川部落の区長及び与板土木事務所長、亘県議会議員をはじめ、来賓多数出席のもと、目的達成を力強く決議しました。

ガンバレ! パラリンピック出場の小川さん

町長を 表敬訪問

九月にスペイン・マドリッドで開かれる第九回パラリンピック国際大会に出場する小川勝志さん(二〇)が七月二一日、高橋町長を表敬訪問しました。

国連・障害者年の最終年を記念して新たに創設された精神薄弱者の陸上競技八百メートル・三千メートルに出場する小川さんは「コロニー白岩の里」の入所者。日本からの出場は全国で六〇名。県内でただ一人出場基準記録を突破している小川さんが推薦で選ばれました。



町長から「がんばって」と激励を受ける小川さん

コロニー白岩の里所長さんと役場を訪れた小川さんは、町長から、「体に気を付けて、メダル獲得へ」と激励を受けました。



磯町
小島平彌氏

人権活動に 貢献

小島平彌氏(磯町)が、人権擁護委員としての永年の功績により関東人権擁護委員連合会長表彰を受賞されました。

小島氏は58年9月から人権擁護委員として、広く人権活動にご尽力されており永年の功績に対し表彰されたものです。

今後益々のご活躍が期待されます。

暑さ吹きとぶ越佐海峡 ナイトクルージング

七月一九日午後六時三〇分から約二時間、新造船えっさ丸で越佐海峡ナイトクルージングに二〇〇名が参加されました。

船上では、カラオケ大会、あちこちで歓声が上がった盛りだくさんな引大会などイベントも盛りだくさんでした。

また、初めて乗船したという参加者は「わ!本当にきれいな船!うれしいわ!」、「この船あまりゆれないネ!」など、あちこちで聞かれ、船の評判も上々。

暑さわすれる涼風船上企画、寺泊の夏が、またひとつおもしろくなりました。



「えっさ丸」

いくつかの気に入ったネクタイでもくたびれてヨレヨレになっては、せっかくのおしゃれも台無しです。

ネクタイは使っているうちに、どうしても結び目の部分がシワになりがちです。特に気に入ったネクタイほど使う回数も多いので、手入れも必要です。まめにアイロンでシワをのばすようにしましょう。

しかし、ネクタイに直接アイロ

ネクタイのシワのとり方

厚紙や和紙の棒を使う



暮らしの
ワンポイント

ンをかけておくと、シワは消えても縁がつぶれて薄っぺらになり、かえって感じがよくありません。

そこで、ネクタイの中にネクタイの形に切った厚い紙型を入れ、上から布を当てて軽くアイロンをかけます。こうするとネクタイの縁をつぶさず、上手にシワをとることが出来ます。

しかし、最近のネクタイには裏地の合わせ目にとじ目があって、紙型の入らないネクタイがあります。その場合には、鉛筆の太さぐらゐに固く巻いた和紙の棒を二本作り、これをネクタイの両側に差し込み、上から布を当ててアイロンをかけると、ネクタイは薄っぺらになりません。

ネクタイを買うときは柄がポイントになりますが、もう一つ重要なことは、型崩れしない製品を買い求めることです。ネクタイの両端の中央をつまみ、軽く引っ張ってみて、よじれるものは、使っている間に型崩れしやすいものです。引っ張ってよじれないネクタイは、正しく裁断されたものといってよいでしょう。

また、ネクタイをハンガーに重ねてかけておくのは、取り出しにくいのはもちろん、シワになり、ネクタイが痛む原因になります。ネクタイは二つ折りにして軽く巻き、引き出しに詰めましょう。整理もでき、シワの原因にもなりません。



町がきれいに…… 子供会ゴミ拾いのボランティア活動



こんなにごみが……

七月五日町部の各子供会が一堂に会し、ゴミ拾いのボランティア活動を実施しました。

午前六時一五分という早朝にもかかわらず、約四〇〇名が港公園に集り、海岸、公園などのゴミ拾いを行いました。

また、夏戸さきりんどり育成会では、親子一緒に地元の名産・町道周辺の空き缶拾いを実施しました。

毎年の事ながら子供達は、「なんでこんなにたくさんするんだらうね」とつぶやきながら、私はこんなことしないよという顔で拾っている姿が印象的でした。

子供達のやさしいボランティア活動でみるみる町がきれいになりました。本当にありがとうございます。



見る見るうちに海岸がきれいに

児童扶養手当

児童扶養手当は、父母の離婚などにより父と生計を同じくしていない児童（父が重度の障害を含む）を養育している母などに、その生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図ることを目的としています。

手当を受けられることのできる人

- ① 手当を受けられることのできる人は、次のいずれかに該当し、十八歳未満の児童を監護している母や、母にかわってその児童を養育している人です。
- なお、児童が身体に政令で定める中程度以上の障害が有る場合は、二十歳未満まで手当が受けられます。いずれの場合も国籍は問いません。
- ② 父母が婚姻を解消した児童
- ③ 父が死亡した児童
- ④ 父が一定以上の障害にある児童
- ⑤ 父の生死が明らかでない児童
- ⑥ 父が引き続き一年以上遺棄している児童
- ⑦ 父が引き続き法令により一年以上上拘禁されている児童
- ⑧ 母が婚姻によらないで懐胎した児童（いわゆる未婚の母の子。父から認知されている場合は除く。）
- ⑨ 養児等



ただし、母又は養育者が老齢福祉年金以外の公的年金給付を受けることができるとき、児童が母の配偶者に養育されている場合などの場合は、支給されません。

また、一定以上の所得がある場合には手当の支給が停止されます。その他、詳しいことは役場住民課（☎七五—三一一）にお問合せください。

地域の守り意気高く 気力！ 迫力！ 団結力！ 町消防演習

七月五日（日）梅雨の合間をぬって午前八時より寺泊港中央埠頭で、日頃の訓練の成果を披露する町消防演習が行われました。

まず、人員姿勢服装の点検・機械器具の点検・第一分団・第二分団と消防署職員による小隊訓練、全分団によるポンプ操作、海からの一斉放水、つづいて、徒歩分隊、車両分隊による分列行進、四時間にわたり整然と展開されました。

閉会式では、表彰、来賓祝辞、寺泊町の無災害を祈って万歳三唱で閉めました。



ポンプ操作



一斉放水



第一分団・小隊訓練

大河津小学校で避難訓練

去る、六月十九日（金）、大河津小学校で火災を想定しての避難訓練と合わせてグラウンドで消火器の使い方を消防署の指導で実施しました。その時の感想文が届きましたので紹介します。

消火訓練に参加して

大河津小学校六年 白井 見幸

消火訓練の人が来てくれて、避難訓練がありました。

ぼくは、消火器を初めて使ってみました。けど白いけむりのようなのは出てきませんでした。レバーをもう一度強くにぎったけど出ませんでした。このような消火器がどこかの家にあつたら大変です。小さな火事でもなかなか消えませんが、でも今日は、避難訓練だったので火事ではありませんでした。友達が使った消火器からは白いけむりが出て、火が消えかかりました。消火器の使い方がわかりよかったです。この訓練を生かして火事を出さないようにしていきたいです。



校長先生、私こわいよ！

寺泊小学校(4年生)が消防署を見学

七月七日（火）、寺泊小学校四年生が担任の先生と訪問しました。生徒たちは、まず、火災予防や消防の仕事について熱心に学び、たくさんの質問を出して職員も対応に一生懸命でした。

また、通信室では一一九番の掛け方などを勉強し、火の用心を約束、終了しました。生徒さんから見学の感想文が届きましたので紹介します。

寺泊消防署を見学して

寺泊小学校四年 安達 大

ぼくは、寺泊消防署を見学して、おどろいたことや、わかったことも、あります。おどろいたことは、消防署のおじさんたちが、あんな重い、ふくを、きているのがおどろいたし平成三年で十二件も、火災が、おきたことです。

わかったことは、寺泊消防署で、仕事をしている人が、二十五人で、一日ずつ、一人一人こうたいで、することです。



変身！僕は大きくなったら消防士

あとは、消防車一台で、三人から四人のります。

それから、火災が多い、季節は、冬です。

なぜかという、冬は、せきゅすトーブとかで、火災に、なりやすいからです。今日、消防署を見学して、わかったことや、おどろいたことが、いっぱい、ありました。また見学にいきたいなあ。

火の用心 火災・救急は119 消防の問い合わせは 0258-75-2476



いきいき サンサンメニュー

おいでください、生涯学習推進室へ……

町体育館の2階に「生涯学習推進室」ができました。(前町史編纂室です) 気軽にお茶を飲みにおいでください。



マナビーちゃんの会話

推進室って何をするところなの？

(マナビーちゃん) あなたの学習相談を受けるところです。

(マナビーちゃん) マナビーちゃんはこの前歌の勉強をしたいと言っていたでしょう。

ええ、家族みんなで合唱したいの

家族で合唱するにはどんな学習をすればよいか、一緒に考えたり、講座や学級を紹介してくれるところです。

わかったわ。私ね家族で合唱を楽しむことから始めてね、さらにより大勢で楽しめればいいなと思っているの。だから合唱のサークルを作れないかしら。

グループやサークルの紹介もしていますし、グループやサークルを作るお手伝いもしますよ。

私は欲張りなので、中国語の勉強もしたいのですが、その講座をつくって貰えるのですか。

有難うございました。推進室に遊びに行きますのでよろしく

ねえ、相談にのって

どうぞ よろしくお願ひします

すぐに講座をつくることはできませんが、公民館に働きかけて対応を考えて貰えます。

そのほか次のような仕事をやる場所です。

1. 生涯学習の基本方針の立案
2. 生涯学習推進会議等の事務局
3. 学習情報ネットワークの整備
4. 人材バンク名簿の作成
5. 生涯学習啓発誌の作成
6. 行政及び民間の生涯学習関連事業の連絡調整業務等の仕事を手掛けています。

★電話での相談は75-2446で教育委員会が出ますので「推進室へ」で生涯学習推進室へつながります。

明治三十四年に西山村や海村が寺泊町に合併した時、両村は小学校の設置をめぐって紛擾した。同時合併の北西越村や野積村は各小学校がそのまま継承されたが、海村の場合は弁才天の庵舎を借用した校舎であったから新設が急務となった。旧西山村立戸崎小学校への児童収容が意図されたが、満員を理由に学校側が断った。一方、蛇塚・京ヶ入の旧分教場問題もかちんで難航した。結局、町議会が調停に乗り出して、旧西山村のうち年友は夏戸小学校、吉・大地・円上寺は寺泊小学校とし、引岡・戸崎・法崎、さらに箕輪を加えて旧海村地区内に学校新設を提案した。経費の地元負担と位置で難渋したが「本山・弁才天は僅か五十戸の村にて、大胆にも千有金円を負担

して遂に事成就せり」と沿革史に記されて、明治三十七年、本山小学校が開校になったのである。通称本山地区は、明治初期、一三を数える集落が点在していた。明治二十二年の町村合併で、旧桑名藩の引岡・戸崎・吉・大地・円上寺が年友を加えて西山村に、旧村上藩の京ヶ入・本山・弁才天・川崎・下曾根・中曾根・蛇塚の海七か村が当新田を加えて海村となった。なお、法崎は戸崎の枝村、箕輪は寺泊町に所属していた。

当新田は明治十年に東川原崎・西川原崎・遠矢ヶ崎・端江新田が合併してできた村である。漢学者大森子陽の出た浄花庵(万福寺)は東川原崎に所在する。ここには子陽先生の墓に並んで、文政元(一八一八年、同寺五世彦山)の弟、橋茂世

が一族菩提の爲と刻字した墓が建っている。茂世は寛政と号し文政九年、五〇歳の頃「北越奇談」六巻を出版、挿絵が著名な北斎であったことから広く愛読された。寺泊の奇談も多く出ている。

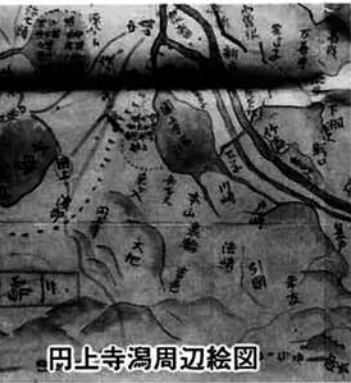
法崎は戸崎の端村であったが、明治二十年に寺泊と大川津を結ぶ新道の開発によって沿道に人家が建ち並び、大正五年に長岡鉄道が開通して法崎駅が設置されるに及んで、戸口は本村を凌駕した。

海七か村の開発は共通して承応元(一六五三年)である。円上寺海周辺は広大な湿地帯で、近郷各村の有力者は支郷としての開発を目論んでいた。そして、大地村の武左衛門が京ヶ入を、吉村の吉兵衛が本山を、同源右衛門が弁才天を、戸崎村の源左衛門が川崎を、下桐村の五郎左衛門が下曾根を、小豆曾根村の治右衛門が中曾根を、真木山村の三郎兵衛が蛇塚を開発したのである。そのためには周囲八キロに及ぶ円上寺海の排水・干拓工事が急務であった。延宝七(一六六九年)には約二キロの排水路が計画されたが、難工事のため中断、寛政十二(一八〇〇)年、一一八一Mの隧道で海への排水工事が着工、一五年の歳月と膨大な人員と経費を要して文化十二年に完工した。

近世末期、引岡の歌人小林一枝も、蛇塚の釈証庵も、生涯をここに住んで、四季を通して詠んだ多くの「故郷賛歌」を遺している。

むかしあれこれ

その4



円上寺海周辺絵図

二藩・二村の同床異夢も 心一つに躍進する本山地区

今月の一品



えご練り

- 〈作り方〉
- ① えご草はよく洗ってごみを取り除く。
 - ② 水と一緒に火にかけ、煮たつまで強火、煮たつたら弱火で三〇〜四〇分位、こがさないようによく練り、型に流して冷やす。
 - ③ 鍋にみそ、砂糖、みりんを入れて中火にかけて練り、一息ぬいてから酢とからしを入れる。
 - ④ えごを食べよい大きさに切り、からし酢みそで食べる。

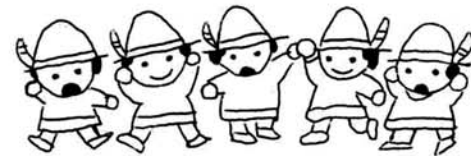
寺泊町食生活改善推進委員会協議会

あらが町に伝わる いなか料理

- 〈材料〉(4人分)
- えご草 100g
 - 水 10~12カップ (ひたひた位)
 - 酢みそ 50g
 - みりん 大1.5
 - からし 少
 - 砂糖 大3
 - 酢 大3

食事づくりの知恵・言い伝え

- 海草の繊維が固くて食べにくい老人にはよい摂取法である。
- 祝い事や仏事などの料理
- カロリーはほとんどなく繊維がとれるので、ダイエット食によい。



みんなの 公民館ひろば

今から始めよう あなたの“生涯学習”
公民館では、こんな教室・講座を開催しています。

寺泊町公民館 (0258-75-2446) 大河津公民館 (0256-97-2497)

コーラス教室

歌は心のハーモニー



家庭教育学級

最愛のわが子の成長を考える



絵画教室

自分をみつめ、心にゆとりを



初心者書道教室

書の心を求めて



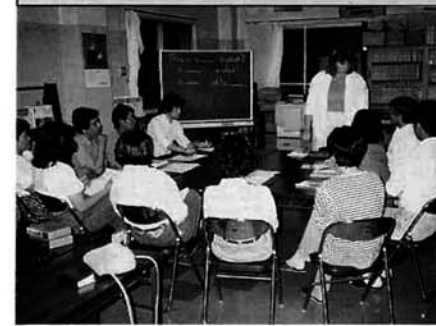
女性セミナー

激変する時代に生きる現代女性をめぐす



英会話教室

あなたも国際人に



料理教室

食卓のレパートリーを広げる



邦楽(尺八)教室

日本の伝統音楽を学ぶ



歴史講座

先人の築いた歴史を知り、
良寛の遺徳をしる



親子わくわく さかなランド

—水族館を探検しませんか?—

- 水族館のしくみ～水族館の裏側見学～
- 生き物の飼育方と観察
- 飼育へチャレンジ等



「あなたも魚博士に。」

日時 8月22日(土)
※午前10時から12時まで(午前の部)
※午後1時から3時まで(午後の部)

集合場所 寺泊町立水族博物館内 レクチャールーム(2階)

対象者 小学校4・5・6年生と保護者

参加料 無料

参加指 寺泊町立水族博物館学芸員 青柳 彰氏

申し込み 寺泊町公民館まで。なお、午前・午後の部とも先着10組で締め切ります。

方法 原則として親子で参加してください。

その他 筆記用具をご持参ください。

みんなあつまれ

ジュニアウインドサーフィンチャレンジスクール

ウインドサーフィンにチャレンジしてみませんか!

開催日 8月28日～30日の3日間

時間 午後5時～6時30分まで

場所 磯町民プール

対象者 小学校5・6年生及び中学生

指導者 日本ボートセーリング協会
インストラクター 倉井 静秋氏 他

申し込み方法 寺泊町公民館まで。なお、定員15名になり次第締め切ります。

墨の濃淡などによって描く東洋独特の絵画 「水墨画教室」学級生募集

募集人員 30名

会場 大河津公民館

期間 平成4年9月～10月

開催日時 毎週水曜日 月4回 午後7時30分～

講師 大矢 幸二 先生

申し込み先 大河津公民館

地域対抗 お盆野球大会

期 8月15日(土)

会場 寺泊町営野球場

参加資格 寺泊町在住者及び出身者の社会人チーム編成

参加申し込み 1～7区及び各学区内とする。

参加申し込み 寺泊町公民館へ8月11日(火)まで

申し込み 寺泊町公民館へ8月11日(火)まで

申し込み 寺泊町公民館へ8月11日(火)まで

その他 久しぶりに戻った級友と地域のチームでお盆野球大会に参加しませんか!

申し込み先 寺泊町公民館へ

TERADOMARI High School News

みんなの力で 県立寺泊高校を大きく育てよう

家庭と学校相互理解を深める地区PTA開催!

経済成長に伴って豊かな社会を形成すると共に、情報化・価値観の多様化・女性の社会進出・核家族化・高齢化など社会及び社会構造の変化が著しく進み、子供達は、家族関係をめぐる変化する社会の中で生活しています。今日、社会の変化に対応してこれからの時代に生きる子供の望ましい人間形成

を図る観点に立って、学校・家庭及び地域の密接な連携を前提にしていることは、言うまでもありません。この三者の接点として大切な位置付けをもつ、地区PTAが次の様に開催された。

6月24日 大河津・和島・出雲崎地区

6月30日 分水・中之島地区

7月1日 寺泊地区

7月2日 与板・長岡・三島地区

各会場とも、全体懇談会、続いて多くの時間を割いた学年懇談会、最後に懇親会を行った。学年懇談会では、学年団に分かれて学習・生活・進路等について各学年の状況に応じて活発に話し合われた。

保護者の話題例をあげると、

一学年、「子供の態度が高校生になつたら急にぞんざいになった」「部活で疲れてよく寝る」「兄につられて勉強するようになった」。

二学年、「高校生活に慣れ明るくなってきた」「教科書を学校に置いてきていた」。

三学年、「言葉遣いがわるいので就職面接が心配」。

生徒が何の為に高校に入学したのか、確りした高校生活を送るには等、を共通点にして家庭・学校が今後に向けて相互理解を深めることができたように思う。



善意に感謝

「社会福祉に役立ててください。」と次の方々より善意のご寄付をお寄せいただきました。

◎片町の解良照子さんより、夫（解良正二さん）の生前中のご厚情に対する感謝と葬儀のお礼の気持ちを込めて3万円のご寄付をいただきました。

◎円上寺の小林松男さんより、母（小林シズさん）の生前中のご厚情に対する感謝と葬儀のお礼の気持ちを込めて10万円のご寄付をいただきました。

このご厚志に感謝し、福祉推進のため有効に活用させていただきます。
ありがとうございました。

新造船“えっさ丸”就航記念ツアー

夏休み特別日帰り企画 親子佐渡体験ツアー

出発日

平成4年8月23日(日)

■集合場所・時間
佐渡汽船寺泊港ターミナルビル待合室
午前7時30分迄にご集合下さい。
(集合場所までの交通費は自己負担となります。)

旅行代金(消費税を含みます。)

●大人 6,000円
(中学生以上)

◆虫カゴ作りや、鳥の巣箱作りができます。

◆昼食は、みんなで楽しくバーベキュー!

※教材費は旅行代金に含まれます。

コース	
8:00 寺泊	10:00 赤泊
送迎バス	
爪の沢キャンプ場(虫カゴ作り、鳥の巣箱作り)	
(昼食バーベキュー)	
15:40 赤泊	17:40 寺泊
送迎バス	

●小人(小学生) 4,900円

募集人員 80名(添乗員同行)

お申し込み・お問い合わせ
佐渡汽船株
寺泊営業所
☎0258(75)3294

大字竹森地内(JR寺泊駅裏)に完成する

住宅団地の名称を募集します

官製はがきに「住宅団地の名称とその理由」・「住所」・「氏名」・「年齢」・「職業」を明記し、下記までご応募ください。



●宛先
寺泊町字上田町
寺泊町役場企画開発課まで
〆切は、8月31日
までです。(消印有効)
採用された方には、豪華賞品をさしあげます。



お知らせ
BOX

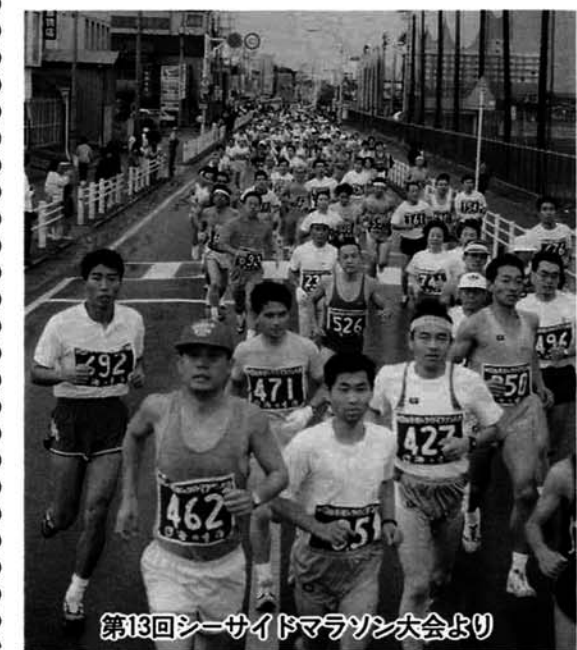
第14回寺泊シーサイドマラソン大会

—出場者申込受付中—
ふるってご参加ください

越後七浦シーサイドラインの公認コースをひた走る、第14回寺泊シーサイドマラソン大会が10月18日(日)に開催されます。

第1回大会以来、北は北海道、南は沖縄からの選手の参加により盛会に行っていますが、さらにこの大会を世界に繋ぐマラソン大会に盛り上げていきたいと思っております。

町内の皆さんもふるってご参加ください。
詳しくは、寺泊町教育委員会内大会事務局(☎75-2446)まで。



第13回シーサイドマラソン大会より

地域づくり特別事業

文化講演会 開催

- 期 日 10月31日(土) 午後3時開演
- 会 場 寺泊町体育館
- 講 師 中村メイ子 さん
- 協 賛 県民の文化振興をめざした『県民文化週間』参加事業



昨年の文化講演会より

手話教室開催

- 四月から開催いたしておりました手話教室もお陰様で最終回の十三回目(七月六日)までに延べ人数五八五人を教えた受講生の皆様の熱意により盛会の中に終了いたしました。
- 受講生の皆様より再度の開催を希望する声を頂き、また『地域づくり特別事業環境と福祉を考える会』としても検討の結果左記により九月再度『手話教室』を開催する事といたしました。
- 皆様のご参加をお待ちしています。
- 開催日 九月十七日から十一月二十六日までの毎週木曜日(計十一回)
- 時 間 午後七時三〇分
- 会 場 寺泊町体育館第一会議室
- 講 師 長岡手話サークル「虹」のメンバー
- 申込み締切り 八月三十一日(月)

国際交流 交歓会

『外国人ゲスト多数参加』



気軽に国際感覚を身に付けようと次のとおり交歓会を開催します。

- 期 日 8月23日(日) ●会 場 赤泊村
- 日 程 寺泊港(8:00出発) — 赤泊港(10:00着)
赤泊港(15:40出発) — 寺泊港(17:40着)
※赤泊村では、昼食に豚汁作りなどを予定しています。
- 参加費 大人3,000円 子供1,500円 ※船賃含む
- その他 昼食は各自ご用意ください。
- 申込み締切り 8月15日(土)
お問い合わせは役場企画開発課までお願いいたします。
TEL 75-3111

成人式のご案内

- 期 日 8月15日(土)
- 会 場 寺泊町体育館
- 受 付 午前8時より
- 式 典 午前9時より
- 対 象 者 昭和46年4月2日から昭和47年4月1日までに生まれた方で、町内在住者及び出身者。



平成3年度成人式より

毎月勤労統計 調査のお願い

労働省では、賃金、労働時間、労働者数の動向を都道府県別に明らかにするため、7月末現在で常用労働者1~4人を雇用する事業所を対象に調査を行います。

8月上旬から調査員が調査票の記入をお願いに各事業所を訪問いたしますので調査の重要性をご理解のうえ、ご協力ください。疑問点や不明な点がありましたらお気軽にお尋ねください。

●調査対象地域

田頭、夏戸、年友、引岡、戸崎

●詳しくは新潟県統計課

(☎025-285-5511)へ

“建設業関係の皆さん” ご存じですか!!!

「建設業退職金共済制度」は、国が昭和39年10月に建設業の労働福祉対策の一環として、中小企業退職金共済法に基づき創設したものであり、その実施運営は、特殊法人建設業・清酒製造業・林業退職金共済組合が当たっております。

この制度の特色は、一般の退職金のように労働者が事業所をやめた時支払われる退職金ではなく、建設業という一つの業種の中で働く限り、事業所に雇用された期間全部を通算して退職金を支払うという、いわば建設業界ぐるみの退職金制度です。

現在、全国で13万の事業所、180万人の労働者がこの制度に加入し、退職金の積立が行われ、すでに60万人の労働者が退職金を受取り、その額は1,681億円を超えております。

詳しいことは、下記にお問い合わせください。

記

建退共新潟支部

住所 〒950 新潟県新光町7-5

新潟県建設会館内

電話 025-285-7111

8月1日~31日 道路を守る月間

道路は、常に広く・美しく・安全に

8月行事



健診・注射 スポーツ・ 行事・講座

おが
さんへ

健診・注射

日	曜日	行事内容
3	月	リハビリテーション(8:30~12:30)与板町てまり荘
4	火	1歳6ヶ月児健診(14:00までにおいで下さい) 農業研修所
6	木	センター () 母子
7	金	乳児健診(13:50までにおいで下さい) 母子センター
10	月	リハビリテーション(8:30~12:30) 母子センター
//	//	糖尿病教室(13:30~15:30) 寺泊町体育館
24	月	リハビリテーション(8:30~12:30) 母子センター
26	水	療育相談 子供の発達について専門医が相談に応じます(保健衛生課へ問い合わせ下さい)
29	土	母親学級(9:30~12:00) 母子センター

みな
さんへ

学級・講座

日	曜日	行事内容
4	火	「コーラス教室」午後7時30分より 講師 土田 明先生 会場 大河津公民館
8	土	「邦楽(尺八)教室」午後7時30分より 講師 中村展秀山先生 会場 大河津公民館
9	日	第13回町長杯争奪野球大会 午前8時開会式 大河津地区運動広場
20	木	「絵画教室」午後7時30分より 講師 橋本直行先生 会場 大河津公民館
21	金	「英会話教室」午後7時より 講師 ローラ・エム・モルト先生 会場 寺泊町体育館第一会議室
23	日	第18回寺泊町少年野球大会 午前7時30分開会式 町営野球場他
30	日	第10回寺泊オープンテニス大会 午前8時45分開会式 町営テニスコート

在宅寝たきり等の方へ 歯科の往診をいたします

寝たきり状態等で、通院が困難な方の在宅歯科診療を下記のとおりいたします。

希望の方は、国民健康保険診療所まで電話連絡ください。

☎ 0256-97-2358

0258-75-2239



●電話受付時間

午前9時30分~午後12時30分

午後2時30分~午後6時00分

●歯科往診日時は毎週月・水・金曜日の午後2時30分~

午後5時00分まで

平成4年度 警察官(高校卒)募集!

平成4年度警察官(高校卒)募集が次のように行なわれます。

1. 採用予定日 平成5年4月1日
2. 受験資格 昭和40年4月2日から昭和50年4月1日までに生まれた男子で、高等学校卒業程度の学力を有する者
3. 受付期間 7月7日(火)から9月1日(火)までの間、近くの警察署・派出所・駐在所で受け付けています。
4. 試験の日時・場所

*第1次 平成4年9月20日(日)

*場所 新潟市・長岡市・上越市

この試験は、新潟県のほか、警視庁、埼玉、神奈川のうち希望する都県警察を選ぶことができます。

詳しいことは、与板警察署(電話72-3131)又は、近くの派出所、駐在所にお問い合わせください。

家屋調査と滅失家屋 の届出について

●新・増築等の建物を対象に家屋調査にお伺いしますので、ご協力お願いいたします。

◎調査対象の建物は平成5年1月1日現在完成の家屋
◎不在の場合は「家屋調査について(お願い)」の文書をお届けしますので都合の良い日を連絡下さい。

●住宅や車庫等の家屋をとりこわす(一部とりこわしを含む)時は届出をお願いいたします。

◎1月1日現在の状況により固定資産課税台帳に登録いたします。

税務課

町税は納期内に

▲8月納期一覧表 納めましょう!

税目	期別	納期
町県民税	2	8月16日~
国民健康保険税	3	8月31日

県の行政機関は8月から すべての土曜日が 休みとなります。

県立図書館や自然科学館等の公共施設は、開いています。



- これにより県の本庁及び大半の出先機関は、土曜日は、日曜日同様業務を休ませて頂くこととなります。
- 県民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。
- なお、県立病院は、第1土曜日と第3土曜日の外来は休診となっていますが、これ以外の土曜日は内科等の新患の方の診療を行っています。

7月10日~8月15日 中部日本海海難防止強調運動